

フジヨシ膜分離活性汚泥法

高度処理型合併処理浄化槽

BOD型合併処理浄化槽

FUJIYOSHI
水と人と未来をひらく

フジヨシ膜分離活性汚泥法は BOD・COD・SS・窒素・リンの同時除去を実現

高度処理型

名称：「フジヨシ膜分離活性汚泥法」高度処理型合併処理浄化槽
処理方式：凝集剤添加型膜分離活性汚泥方式
処理対象人員：51～20,000人
文書番号：国住指第1697号 平成24年10月29日
認定番号：DW3N-148
認定年月日：平成24年10月29日

BOD型

名称：「フジヨシ膜分離活性汚泥法」BOD型合併処理浄化槽
処理方式：膜分離活性汚泥方式
処理対象人員：51人～10,000人
文書番号：国住指第3183号(51～5,000人)
国住指第3195号(5,001～10,000人)
認定番号：DW3N-8173(51～5,000人)
DW3N-8185(5,001～10,000人)
認定年月日：平成14年3月14日



■処理水質：（一般評定排水基準値）

水質項目	BOD	COD	SS	n-Hex抽出物	T-N	T-P
高度処理型	5mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下	0.5mg/ℓ以下
BOD型	5mg/ℓ以下	10mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	20mg/ℓ以下	---

(財)日本建築センターによる審査結果性能評定値

特 長

窒素・リンの同時除去

膜分離法の採用によりBODなどの有機汚濁物質の分解だけでなく、**窒素も同時に除去が可能。**

高度処理型は、硝化槽に凝集剤を直接添加する除去方式を採用しているため

リンの除去も可能。

施設接地面積がコンパクト

高濃度活性汚泥運転でばっ気槽容量を小さくでき、沈殿槽や汚泥濃縮槽が不要。よって従来方式の合併浄化槽に比べて**設置面積が25～50%（当社比）の省スペース**となる。

処理水の再利用が可能

処理水質が極めて良好で安定するため、**トイレ洗浄用水等として再利用が可能。**

膜のセルフクリーニング

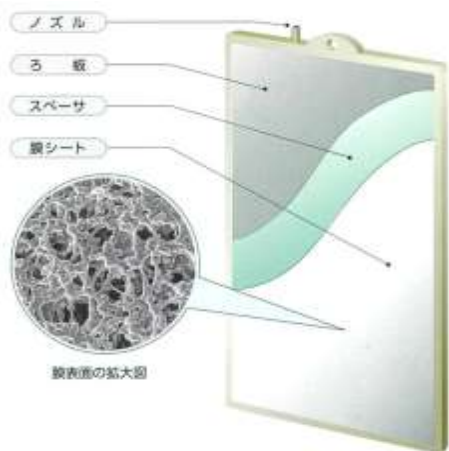
ばっ気槽内に設置される膜分離装置は、ばっ気攪拌の水流と気泡で膜面が常に洗浄されるため、**洗浄のための特別な動力は不要で、安定した膜分離が可能。**

運転管理が容易

処理フローがシンプルで負荷変動にも強い**ため**運転管理が容易で、かつ従来方式に比較して格段に**電気代・薬品代が抑えられる。**

膜ユニットについて

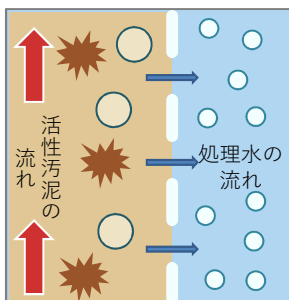
膜カートリッジの仕組み



膜カートリッジの両面に貼られた膜材は、塩素化ポリエチレンを原料とした公称孔径 $0.4\mu\text{m}$ の微多孔性膜です。処理水はスペーサを通り、ノズルから排出されます。

膜ユニットは、ろ板の両側に微多孔性膜を貼った膜カートリッジ、その内側から処理水を抜き出すチューブと集合管、多枚数の膜カートリッジを収納する膜ケース、さらには下部の散気管と散気ケースで構成されています。

膜カートリッジは1枚ずつ取り出すことができ、点検・交換も簡単です。

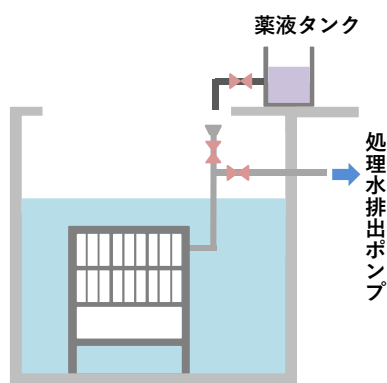


←クロスフローろ過方式

分離対象液が膜面と平行に流れ、処理水は膜面に直角に透過します。ばっ気水流で常時セルフクリーニングをすることで、膜表面に堆積物が生じにくい構造となっております。

洗浄方法

①槽内薬液洗浄 簡単な薬液洗浄システム



膜ユニットを槽内に設置した状態で、薬液洗浄が行えます。また複数ユニットの場合は、他の膜ユニットを運転しながら、洗浄することも可能です。

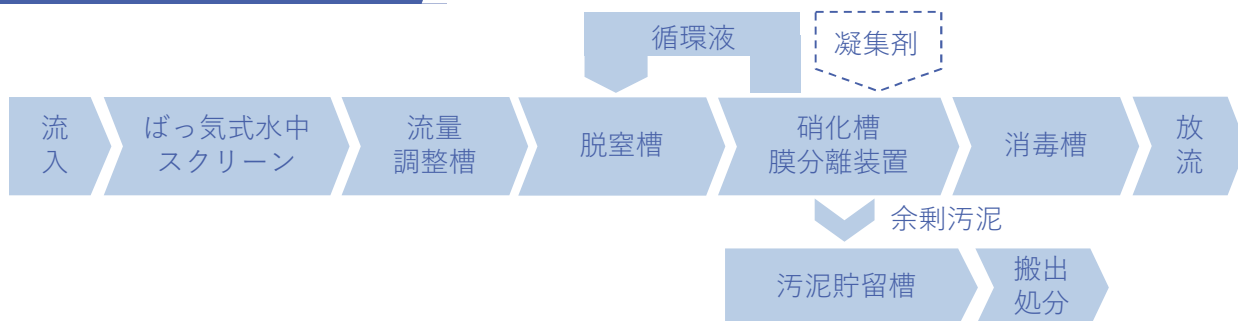
有機系の汚れには次亜塩素酸ソーダ、無機系の汚れにはシュウ酸などで洗浄します。

②散気管洗浄 独自開発の散気管でメンテナンスも容易



ブロフ運転中に洗浄用バルブを開けると槽内液により散気管内を洗浄できます。洗浄用バルブに電動弁を使用すれば散気管洗浄を自動化することも可能です。

フローシート (高度処理型代表例)



お問い合わせ先

藤吉工業株式会社

名古屋市 中村区 太閤4-2-8 TEL:052-451-8261

豊橋支店 豊橋市 飯村町 字 西山 1-4 TEL:0532-63-3151
 浜松支店 浜松市 中央区 薬師町 5 TEL:053-422-3531
 三重支店 四日市市 西浜田町 3-3 TEL:059-353-7726
 東京支店 中央区 新川1-15-11小田中ビル2F TEL:03-3297-8261

<https://www.fujiyoshi.co.jp/>